

横断歩道では

渡りたい

あいず



手のひらと顔を向けて



で

安全横断!

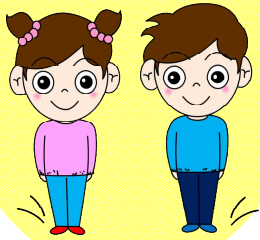
横断歩道を安全に渡るために、手と顔を運転者に向けて「合図」をし、「渡りたい意思」を伝えることは、効果的な方法のひとつです。

しかし、「手をあげさえすれば安全」といった誤った理解をしてしまうと、かえって危険な横断になりかねません。

安全な道路の渡り方についてももう一度確認し、日常生活の中で、時間をかけて繰り返し伝えていただくようにお願いします。

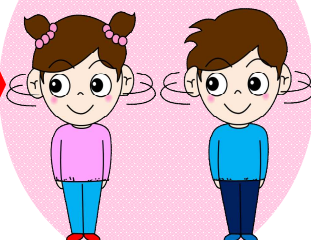
合図横断ってどうするの？

止まって



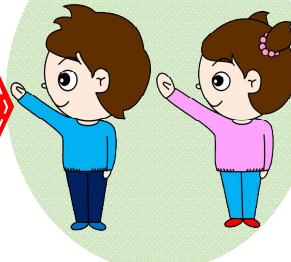
道路に
飛び出さない

よく見て



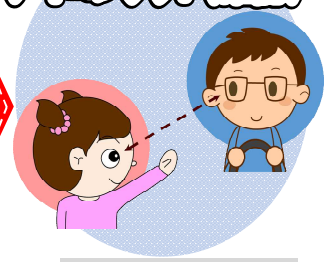
周りの安全を
よく確認する

合図して 車が止まるのを待つ



運転者に手のひらと
顔を向けて合図する

止まった運転者と アイコンタクト(確認)



運転者と目
を合わせる

ここが肝心！
「止まる」「見る」ができるようになって
から次のステップに進んでください！



運転者のみなさん！
横断歩道の人や合図を
見逃さないで！

他の車やバイク、
自転車に
注意する

渡るう

